

教育委員会の権限に属する事務の管理及び
執行状況に係る点検及び評価に関する報告書
(令和元年度版)

令和 2 年 9 月

名古屋市教育委員会

はじめに

平成19年6月、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、教育委員会では、毎年、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会へ提出するとともに市民に公表することが義務付けられました。この法改正は、教育委員会が事務の管理・執行の状況を自ら点検・評価することにより、より効果的な教育行政を推進するとともに、市民への説明責任を果たすという趣旨に基づくものです。

名古屋市教育委員会では、「第3期名古屋市教育振興基本計画」の進捗管理を通じて、令和元年度に取組んだ事務の点検・評価を行いました。本報告書によりその結果を報告します。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

< 目 次 >

第 1 章 教育委員会による点検及び評価

1	点検及び評価の概要	・ ・ ・ ・ ・	1
2	点検及び評価の説明	・ ・ ・ ・ ・	2
3	施策体系図	・ ・ ・ ・ ・	4
4	点検及び評価の結果	・ ・ ・ ・ ・	6

第 2 章	学識経験者による意見	・ ・ ・ ・ ・	111
-------	------------	-----------	-----

第 1 章 教育委員会による点検及び評価

1 点検及び評価の概要

(1) 目的

教育委員会が、事務の管理及び執行の状況について自ら点検及び評価を行い、その報告書を議会へ提出し、公表することにより、効果的な教育行政を推進するとともに、市民への説明責任を果たす。

(2) 点検・評価方法

第 3 期名古屋市教育振興基本計画（計画期間：平成 31 年度～令和 5 年度）の進行管理を事務の点検・評価の手法とする。

(3) 教育に関する学識経験者の知見の活用

教育に関する学識経験者 4 名に、外部の視点から意見・助言をいただく。

<学識経験者名簿>（五十音順・敬称略）

白上 昌子	NPO 法人アスクネットアドバイザー
服部はつ代	NPO 法人チャイルドラインあいち代表理事
原田 信之	名古屋市立大学大学院教授
山根 真理	愛知教育大学教授・愛知教育大学附属名古屋中学校長

2 点検及び評価の説明

施策1

基礎的・基本的な知識・技能の習得と、自ら考え、判断し、表現するなど幅広い学力の育成を進めます

めざす姿	子どもが基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、思考力・判断力・表現力など社会で活躍するための幅広い力を主体的に伸ばしている
------	---------------------------------------------------------------

◆元年度の評価及び今後の取り組み・方向性

○新学習指導要領に対応した小学校用の「名古屋市教育課程」を作成しました。今後は、中学校用の「名古屋市教育課程」を作成し、各学校で特色ある教育課程を編成する際の参考として活用できるようにします。また、臨時休業に伴う教育課程再編の指針を示します。

○
○

成果指標・各事業の施策への貢献度を踏まえつつ、施策全体を見通した視点により、元年度の評価や今後の取り組み・方向性などについて記載しています。

◆成果指標

指標	平成30年度 (策定時)	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	5年度 (目標)
「授業の内容がわかる」と回答した児童生徒の割合	小 92.4% 中 86.7%	小 91.0% 中 82.5%					小 94% 中 88%
学習意欲に関する質問に肯定的に答えた児童生徒の割合	小 80.0% 中 71.6%	小 82.6% 中 75.5%					小 82% 中 73%

原則、令和元年度実数値を記載しています。
事情により令和元年度以外の値を使用する場合は年度を併記してあります。

◆事業の方向性評定数

拡充	継続	縮小	改善
7	9		0

方向性ごとの事業数を記載しています。

◆事業の実施状況（元年度）

＜事業群 ① 幅広い学力の育成＞

事業名【所管】	重点1-1 新学習指導要領の着実な実施【指導室】	
元年度決算額	10,703千円	
実施内容・成果（計画事業量の達成状況）	課題	
<p>○授業改善を推進しました。</p> <p>○小学校、特別支援学校（小学部）、小学校特別支援学級・通級指導教室の「名古屋市」</p> <p>令和元年度に行った主な取組について記載しています。</p>	<p>○新学習指導要領に対応した中学校用「名古屋市教育課程」の作成</p> <p>○年度末の臨時休業に伴う令和2年度用</p> <p>課題</p> <p>事業ごとの課題を記載しています。</p>	
今後の取り組み・方向性		
継続	<p>○中学校、特別支援学校（中学部）、中学校特別支援学級・通級指導教室の「名古屋市教育課程」を作成します</p> <p>○臨時休業に伴</p> <p>課題への対応や最終年度の目標達成を踏まえて今後の取り組み・方向性について記載しています。</p>	

各事業の方向性について、以下の4種類に区分しております。

- 【拡充】 対象・予算・実施回数の増などを行う場合
- 【継続】 事業の内容を変更せず事業を継続する場合
- 【縮小】 対象・金額・実施回数の減などを行う場合
- 【改善】 拡充等によらず、事業の効果を高める工夫をする場合

令和元年度より開始した取組

新たな事業	ヘルメットの配備【指導室】	
関連する計画掲載事業	重点3-7 学校における防災教育	
元年度決算額	34,989千円	
事業の実施状況	<p>○地震発生時等に安全を確保する</p> <p>び特別支援学校小学部1～6年</p> <p>式防災ヘルメットを配付しまし</p> <p>教育振興基本計画に不掲載で、令和元年度より開始した主な取組を記載しています。</p>	

3 施策体系図

基本的方向Ⅰ

子ども一人ひとりの個性を大切にし、社会で活躍できる力を育成します

基礎・基本の上に培われる幅広い学力、他人への思いやりや豊かな感性、健やかな心身などグローバル社会の中で、夢をもって人生をたくましく生きる子どもの育成を進めます。

施策 1	基礎的・基本的な知識・技能の習得と、自ら考え、判断し、表現するなど幅広い学力の育成を進めます
事業群	幅広い学力の育成／高等学校教育の推進／幼児教育の推進
施策 2	人権を尊重し多様性を認め合う心、豊かな感性と創造力、社会の一員としての規範意識や自覚を育みます
事業群	豊かな人間性、社会性の涵養／さまざまな体験・経験機会の提供／交流を通じた学び
施策 3	望ましい生活習慣を身に付け、生涯にわたってたくましく生きるための心身を育みます
事業群	健やかな心身を育む取組／安心・安全な学校生活の確保
施策 4	多様な教育的ニーズに対応したきめ細かな支援を推進します
事業群	障害のある子どもへの支援／発達障害の可能性のある子どもへの支援／多文化共生に向けた支援／その他の支援
施策 5	グローバルに活躍するための資質・能力を育みます
事業群	グローバル人材の育成／郷土理解を深める学び

基本的方向Ⅱ

子どもや教職員のための良好な教育環境を整備します

教職員が子どもと向き合い、いきいきと教育活動に携わることのできる環境の整備、学校施設・設備の機能更新や望ましい学校規模の確保など、子どもの学習や生活の基盤となる学校におけるヒト・モノの充実を進めます。

施策 6	豊かな人間性と確かな指導力をもった教職員を育成します
事業群	基本研修／専門研修／その他の取組
施策 7	教員がいきいきと教育活動に取り組むための環境整備を進めます
事業群	「元気な学校づくり」プロジェクト／学校事務の適正化・効率化の推進
施策 8	子どもが安心・安全で快適に学ぶことができる施設の整備を進めます
事業群	学校施設の更新・機能向上／教育施設にかかる防災対策／学校施設の効果的活用
施策 9	子どもにとって望ましい学校規模を確保します

基本的方向Ⅲ

学校・家庭・地域が共に子どもの豊かな育ちを応援する体制を整備します

教職員以外の専門スタッフも活用した子どもの人生(ライフキャリア)を応援する体制の整備、家庭の経済的状態によらず将来の進路選択ができる経済的な支援、学校と共に家庭や地域が子どもの豊かな育ちを支えるための取組を進めます。

施策 10	子どもの針路を応援するため、一人ひとりの発達の過程を支援します
事業群	子ども・親総合支援／学校教育におけるキャリア教育・就労支援
施策 11	いじめや不登校などの未然防止と早期発見・解決に取り組みます
施策 12	保護者の経済的負担を軽減し、多様な進路選択を支援します
事業群	高等学校における支援／小・中学校における支援／幼稚園における支援
施策 13	親子のふれあいと家庭の教育力向上を支援します
施策 14	地域と共に子どもを見守り、育みます
事業群	学校運営における地域との連携／地域の力を活かした教育活動

基本的方向Ⅳ

生涯を通じた学びの支援と、名古屋に人を惹きつける文化の魅力の創造・発信を進めます

図書館や生涯学習施設の運営などによる生涯を通じた学びの支援や、博物館・美術館・科学館の魅力発信などによる歴史や芸術、自然科学を「感じる」、「考える」機会の提供を進めます。

施策 15	図書館改革を進め、読書機会の充実と多様な学びを支援します
施策 16	生涯を通じて学び、社会で活躍し続けられるよう支援します
事業群	生涯学習施設の運営／生涯学習機会の充実／学校施設の活用
施策 17	博物館・美術館・科学館の魅力を磨き上げ、発信します
事業群	博物館・蓬左文庫・秀吉清正記念館／美術館・科学館／学校教育との連携
施策 18	名古屋の歴史や文化に根ざした魅力を大切に、活用・発信します